

第3学年 研究のまとめ

	1 指導計画の工夫	2 指導過程および指導方法の工夫	3 評価の工夫
G 3	①グループの実態に応じた指導計画の作成と見直し ②学び直しの時間の設定 ○レディネステストを行い、実態を掌握し、必要な部分は復習をさせてから学習に入る。 ○単元のまとめの時間を、十分に確保する。	①課題提示の工夫 ○課題の内容を吟味し課題提示を工夫した。 ②自力解決に導くために工夫 ○具体物やプリント等の工夫と活用 ③時間配分の工夫 ○各時間、一斉指導と個別学習の時間配分を工夫し、学習の習熟、定着を図った。	①一人一人の考えや学習状況を知る工夫 ○段階をスモールステップに分け、形成的な評価を多く取り入れることで個に応じた支援ができた。 ②学びの振り返り ○単元の学習が終わった後も、指導を継続しながら定着を図った。
G 2	①グループの実態に応じた指導計画の作成 ②学び直しの時間の設定 ○レディネステストの結果から、既習事項の復習時間を設定したことで、スムーズに本単元の学習に入ることができた。 ▲個に応じたの補充学習に取り組む時間が足りなかった。算数の時間以外に設定することは、困難だった。 ○小単元が終わる毎に習熟の時間を設定し、定着を図ることができた。	①課題提示の工夫 ○色分け、マーク、アンダーライン等の視覚に捉えさせることで、題意の理解を容易にすることができた。 ②自力解決へ導くための工夫 ○具体物・半具体物の操作活動や学びのタイプ別のヒントカードを与えた。 ○ノートの活用を重視し、絵や図を描いて、じっくり筋道を立てて考えさせたり、自分の考えをまとめさせたりすることができた。 ③学習速度に対応するための工夫 ○学習速度の速い児童に対しては、複数の考えを導き出すよう助言をしたり習熟プリントを活用させたりした。その間、個別指導を要する児童の支援にあたることができた。	①一人一人の考えや学習状況を知る工夫 ○机間指導の重視と毎時間のノート・プリントの点検し、一人一人の学習状況を見取り、個に応じた支援ができた。 ○座席表に考えや理解度を記録することで、個々の理解度や問題解決の方法を把握し、個に応じた支援ができた。 ②学びの振り返り ○プリントやテスト、ノートの記録を累積することで学習の定着を図ることができた。 ▲感想等自分の学びのふり返りの時間の確保が難しかった。

